



日本CM協会の活動

— 組織と資格、CM約款、保険、CMスクールの概要 —

第2回CM方式活用協議会

2008年3月6日

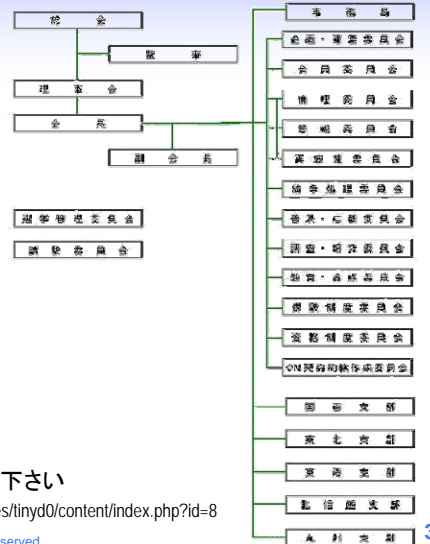
日本コンストラクション・マネジメント協会理事 岡 正信



日本コンストラクション・マネジメント協会の概要

- 基本理念
 - 「健全な建設生産システムの再構築」と「倫理観をもったプロフェッショナルの育成」を目標に活動すること
 - コンストラクション・マネジメント業務の健全な普及発展
- 特徴
 - 会員は、CMrに限らない。発注者、設計者、建設コンサルタント、総合建設業者、専門工事業者など
 - 官民、産官学、あるいは建築・土木の垣根もない。
 - 倫理規程を設定し、会員には遵守の誓約を求めている。

- 会長および9名の理事で理事会を構成
- 理事が、実務を行う委員長を兼務している
- 独立した選挙管理委員会と試験委員会を設置
- 本部+5支部で活動中
- 公益法人を目指し、法人格を取得予定



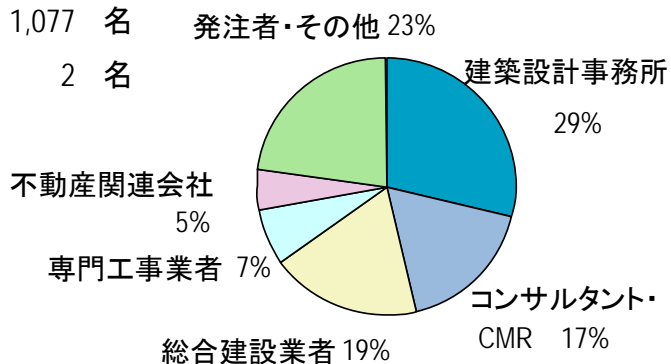
ホームページをご覧ください

<http://www.cmaj.org/modules/tinyd0/content/index.php?id=8>

Copyright (C) 2008 Construction Management Association of Japan. All Rights Reserved.

3

- 会員数
 - 法人会員 37 社
 - 個人会員 1,077 名
 - 学生会員 2 名
- 構成員比率



Copyright (C) 2008 Construction Management Association of Japan. All Rights Reserved.

4

- 日本コンストラクション・マネジメント協会が「認定」する資格
- CCMJ (Certified Construction Manager of Japan) と ACCMJ (Assistant Certified Construction Manager of Japan) の2レベル
- 2003年度試験開始 3回終了 第4回 2008年8月3日実施
- 受験資格
 - 実務経験または一建士、一建施等の有資格者
- 試験内容
 - 選択問題の知識試験
 - 筆記問題の能力試験

- CCMJ登録資格者数 411名
- 登録更新
 - 5年 CPDのポイントを獲得することを条件としている。
- 状況
 - いくつかのプロジェクトで、応募資格要件に採用されている。認知度を増すことが課題
 - 一建施のような国家資格となることが理想だが、現実的には多くのプロジェクトで応募資格要件に使われることで、資格の質と資格者の質が向上する相乗効果を生むと考えている。

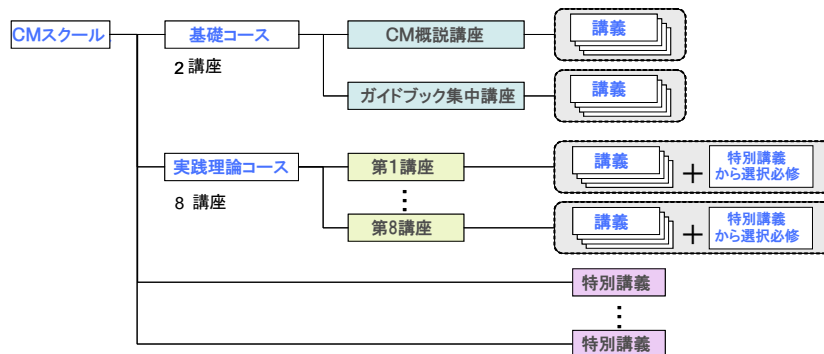
- CM(コンストラクション・マネジメント)業務委託契約約款・業務委託書の発行 2007年11月
- 協会 本部・支部で発売中
- 現在、民間で行われているCM方式の標準と考えられる業務に適合
- 大森文彦弁護士の監修
- 公共工事の約款・委託書を作成するときも参考にできる



- 日本CM協会の団体保険
- 募集開始 2008年1月 保険開始 2008年4月
- 1年更新 掛け捨て型
- てん補限度額 1億円
- 保険料算定基礎 前年度年間業務報酬額
- 保険対象 「CMAJ版CM業務委託書」に記載された業務
- 東京海上日動火災保険(株)を幹事会社とするニッセイ同和損害保険(株)、ザ・ソサエティ・オブ・ロイズの共同保険
- 詳細については、ホームページに、掲載

- 目的
 - 実際のプロジェクトにおいてCMを遂行できる能力を持つマネジャーの育成
 - 健全で、かつ、質の高いCM業務の普及
- 開校予定 2008年4月14日
- 第1期第1次募集 3月3日～3月25日
- スクール長 嘉納成男早稲田大学教授
- 講師 さまざまな分野のプロフェッショナル

● カリキュラムの構成



- ホームページ www.cmaj.org/cmschool

